



感染性胃腸炎やお腹の風邪に注意！！

寒い時期に気を付けたいのが「感染性胃腸炎」です。ノロウイルス、ロタウイルスなどに感染すると、激しい嘔吐と、水のような下痢が起こります。さらに嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると入院が必要になる事もあり、大変危険です。

また、お腹の風邪といわれるものでも、症状が続く時には、脱水に気を付けなければなりません。症状が落ち着いてきたら、少量ずつ水分摂取を促し、安静にして過ごしましょう。



●対処法●
経口補水液による
「少量頻回」の水分補給

2月の保健行事

- 9日(火) 0歳児健診
- 15日(月) 幼児身体測定
- 16日(火) 乳児身体測定

予防接種表の記入のお願い

板橋区の保育園では、各年度末に、予防接種の接種状況を板橋区に報告させていただいています。

最新の予防接種状況と、既往歴を記載の上、提出いただくようご協力をお願いします。

提出方法については、掲示物にてお伝えしていきます。

子どもの視力ってどのくらいあるの？

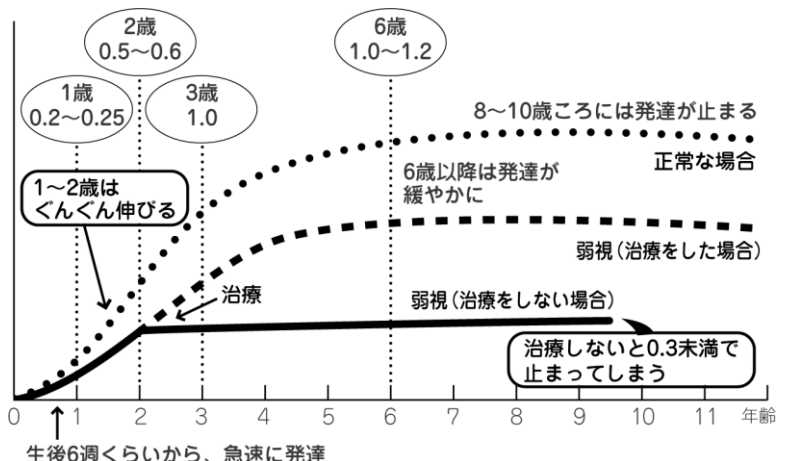
1月に、4・5歳児対象の視力検査を行いました。初めての体験で緊張している子もいましたが、「片方の目だと見えにくいよ。」「思っていたよりも見えたし、難しくなかったよ。」など、自分の目がどのくらい見えているのか、見える力はどうか知る事が出来ました。結果はすでにお伝えしていますが、今回の検査の結果を参考に、子どもの目の発達について少し話をしたいと思います。

生まれたばかりの時は、0.01程度の視力しかありません。それが、生後6週頃からぐんぐんと発達していき、6歳で1.0程度まで上昇。その後発達は緩やかになり、8~10歳で完全に止まると言われています。その為、この時期までに何らかの原因で視力の発達がうまくいかなかった場合、その後の視力を伸ばす事は難しいです。

一番視力が発達するのは、乳幼児期ですが、実際に視力を調べる機会は少なく、目に異常があったとしても、気付かれにくいです。

物を見る時に、目を細めたり、見えにくそうにしている様子はありますか？

お子さんの目の状態に注意を向け、気になる事があれば、早めに眼科を受診しましょう。



生後6週くらいから、急速に発達